

令和6年度新潟大学農学部学校推薦型選抜  
生物資源科学プログラム

小論文課題

農福連携は、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する活動である。現在、農業経営体（注）による障がい者の雇用、障がい者就労施設（障がい者が働くことができる施設）による農業参入や作業受託などの取り組みが行われている。日本政府は、「農福連携等推進ビジョン」を2019年に決定し、2024年度までに農福連携に取り組む農業経営体または障がい者就労施設を新たに3,000創出する目標を掲げている。

あなたは、農福連携を拡大する上で、どのような取り組みが有効であると考えるか、理由を含めて700～800字で述べよ。

（注）農産物の生産を行うかまたは委託を受けて農作業を行う者で、大きく組織経営体と家族経営体に分けられる。